

米の安定供給の確保について

平成23年3月16日

- 1 平成23年東北地方太平洋沖地震に関し、米について、被災地以外においても、一部の地域で、店頭において品薄な状態が発生しております。
- 2 これは、震災後の支援物資の輸送を優先していることに加え、道路の渋滞や給油の不如意等を背景とした物流の混乱が原因と考えられます。
- 3 米については、需要量に十分見合う生産量が確保されている上に、民間在庫にも十分な余裕があります。
〔 本年産米が出回る直前の6月末の民間在庫量は、200万トンの程度と見込まれています。 〕
更に、このような大量の民間在庫に加えて、政府は約100万トンの備蓄米を保有しており、これをいつでも放出する用意があります。
国内には、十分なお米があります。
- 4 なお、農林水産省としては、現下の状況に対し、円滑な供給の回復が速やかに図られるよう、流通業者等に対して、出荷・販売の促進を強く指導してまいります。
- 5 消費者の皆様におかれましては、被災地への対応が喫緊を要している事情も御賢察の上、必要以上に買いだめを行わない等、冷静な消費行動をお願いしたいと考えております。

(参考)

現在の米の需給について

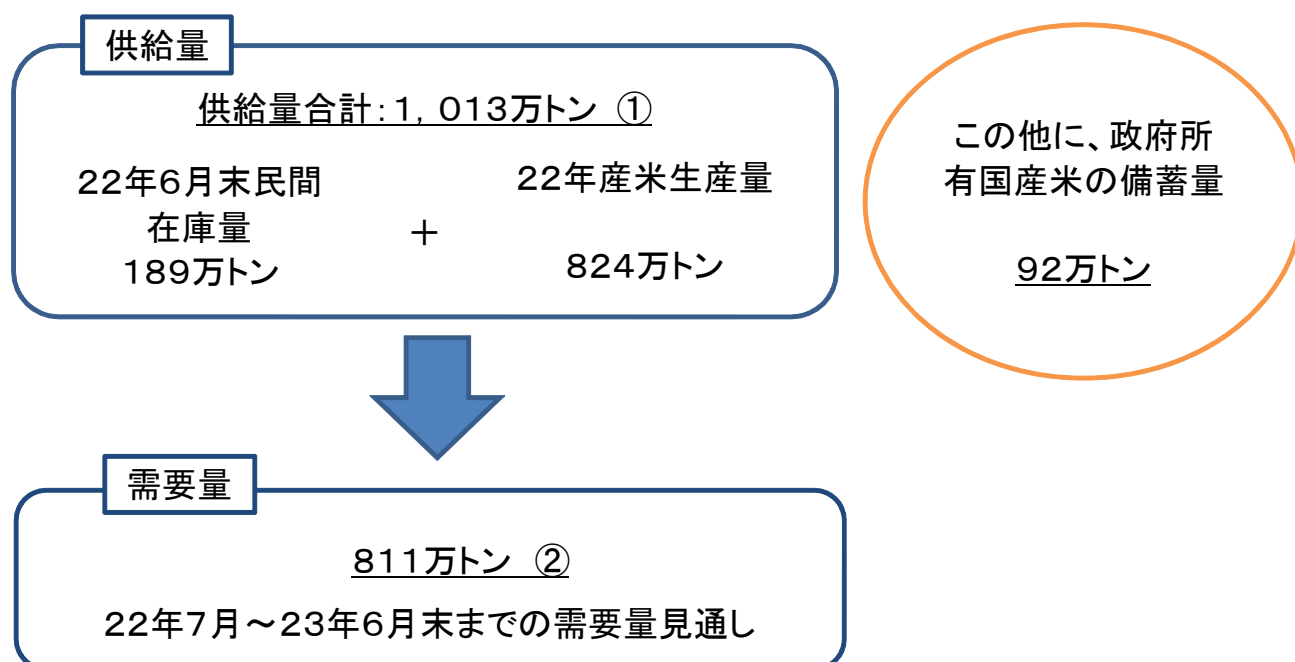
現在、我が国の年間の米の需要量は、概ね810万トン程度となっております。

他方、米の供給については、

- ① 平成22年6月末の民間在庫189万トンに、
- ② 22年産米の生産量824万トンを加えた全体の供給量は1,013万トンとなっており、需要量に対して十分な供給を確保しております。

また、このほかに、政府による米の備蓄が92万トンあることから、国民に対する米の安定供給は十分確保されております。

平成22／23年の主食用米の需給状況



※ 供給量① - 需要量② = 23年6月末民間在庫量見通し 202万トン